

打込鋼矢板基礎+ダブルウォール



【林地荒廃防止事業 郷ヶ原】 宮崎県)北諸県農林振興局 / 規模: 堤長L=37.0m、堤高H=7.0m

この様な問題も・・・

- ① 支持力不足(地盤が悪い)
- ② 地山掘削ができない
- ③ 進入路が狭い
(コンクリート持込みが難しい)

例: 工事車両 ミキサ一車×約160台
(Con 約640m³)



この様に解決!

- ① 打込鋼矢板基礎(裏面①)
- ② 袖部貫入ゼロ工法(裏面②)
※「審査証明」準備中
- ③ 全て鋼製で資材量軽減

例: 工事車両 4t×約16台
(鋼材 約62t)



現場へは民家の前を通るため、大型車両が多く行き交う事による住民の方への負担を和らげる事もできました。

打込鋼矢板基礎

+ ダブルウォール

① 打込鋼矢板基礎 ② 袖部貫入ゼロ工法



袖部貫入ゼロ工法は、地山貫入部に相当する堤体を上流方向へ設けることで十分な浸透流路長を確保

★施工業者さんのコメント

「地盤が悪く、シラス地盤なので経験上改良も効き難いんじゃないかと思う。だから現実コンクリートじゃとても無理だったと思う。堰堤の左半分は非常に水が多くて、打ち込みは少し苦労だった。でも右半分は問題なくできたし、DWは最初面倒に思ったが始まってある程度上がったら、むっちゃ早かったよ！」



■ 袖部貫入ゼロ工法の事例

【左又沢治山工事】 東北森林管理局 三八上北森林管理署 / 規模: 堤長L=17.6m 堤高H=6.0m(手前側)



この現場も切立った左右の地山を掘削する事が困難でした。そこで採用されたのが、袖部貫入ゼロ工法です。このような現場でお困りでしたら、いつでもご相談ください。共生の技術で解消できます。(転生フォーカスNo.26参照)

■ その他、郷ヶ原(表紙)堰堤では下記製品も合わせて採用されています。

鋼製護岸工に スーパーギャビオン(→ JOB FOCUS No010、014)

間詰め擁壁に テンサーダブルウォール(→ JOB FOCUS No005、009、019)